

早池峰山、岩手山 ～そうだ、東北へ行こう～

山行日： 9月14日～16日

日程：14日 松戸市民劇場前 7:00 = 大沢温泉 15:00

15日 大沢温泉 6:00 = 河原の坊駐車場 7:00/07:20 - 小田越え 08:00 - 山頂
10:25/10:45 - 小田越 12:40 - 河原の坊駐車場 13:10 = 馬返しキャンプ場
16:00

16日 馬返しキャンプ場 5:00 - 鉾立 8:55 - 薬師岳 10:20 - 鉾立 11:20 - 馬返し登山
口 13:50 = 柏駅 23:00

昨年の荒川三山・赤石岳が台風で流れたので、今年こそはと計画されたものの今年も悪天候。急遽雨を避け東北へ。早池峰山も昨年途中引き返したので、これまたリベンジ山行になりました。

14日 移動日は最高！！

初日は移動のみで松島で焼きかきを堪能し、花巻温泉一画の大澤温泉湯治屋へ。丸山さんの特製芋煮で一杯。肌触りの良い温泉につかり、最高の気分でお休みなさい ZZZ

15日 早池峰山登山。お天気は曇り時々晴れ

花の宝庫でもあり、名前がとても魅力的なので、どうしても登ってみたい山でした。自然保護に力を入れていて、登山道は植物を守るために登山口から頂上までロープが張られ、監視員も配置し、携帯トイレも推奨しています。

樹林帯を小一時間登ると1合目。すると突然視界が開け、山容が現れます。素敵な容姿です。ここからずっと岩場が続き、しかもつるつと滑る蛇紋岩。気をつけて登りながら高度を



上げ、対面の薬師岳を眺めながら自分の高度を確認。この辺りから、まだ残っていてくれたナンブトラノオやナンブトウチソウのピンクの花々が風に吹かれてゆるやかに揺れています。ハヤチネウスユキソウの枯れ草も残り、咲いている姿を想像するのもまた楽しいです。

巨岩に架かるはしごを登り、9

合目に出ると木道が続きお花畑の名残が見られました。

山頂は360度の展望があり雲海から山々が頭をだし素晴らしい光景でした。それから

早池峰神社奥宮があり、「左に月、右に太陽の窓があるので、太陽から手を入れ月の方向に手を伸ばすと鈴のひもがつかめる」という鈴の鳴らし方を教わり、皆で試してみました。

返りも蛇紋岩のつるつる磨かれた岩を注意深く歩き、紅葉の時期も綺麗なのでしょうね！等々言いながら下山しました。早池峰山はイメージとは違って岩が多いのですが、山容がとても美しいのが印象的でした。

今夜宿泊予定の岩手山の麓、馬返しキャンプ場へ。岩手山が見え始めると、あまりの雄大さに明日日帰りで登れるのか、びびりまくりながらもキャンプ場で一杯。

16日 岩手山登山。曇り時々晴れ、そしてにわか雨

登山口鬼又清水の湧水がものすごい勢いで沸いていて、美味しい水を汲んで出発。最初は粘土質の道、1合目の道標に出合い、これから合数が増えるのを目安に頑張れます。徐々に溶岩混じりの道に代わり、2合目半には新道と旧道の分岐があり、ここから7合目まで新道を歩くことになりました。すれ違いの人に聞くと、旧道の方が景色がよいが、ざれて歩きにくいとのこと。下山は新道のほうがよいと言われました。途中5合目で、体調不良のKさんが引き返す事になり、実質テント番をして頂きました。本当にありがとうございました。

7合目を過ぎると岩手山のお鉢が見えるようになり、火山を実感。さすがに南部富士と言われるだけに、富士山のミニ版といった感じ。8合目には良く整備された避難小屋があり、トイレがとても綺麗で感激しました。各コースの合流地点となる9合目の不動平からの眺めは各々のピークが見えてとても美しかったです。あとは火山岩を一気に登るわけですが、風もなく、火口も覗け、草紅葉が見事でした。山頂



で写真撮影をして、同じ道を下山しました。下山途中、ふいに雨が降ってきて、雨具にもお世話になりましたが、キャンプ場に着く頃にはすっかりやんで助かりました。

テントはKさんがたたんで下さり、スムーズに帰る準備も終え、お約束の温泉にも入れて素敵な山旅となりました。

長距離の運転をして下さったリーダーには感謝、感謝です。ありがとうございました。